

氏名	丸山 優	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本認知症ケア学会、千葉看護学会、プライマリケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、SPU学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	急性期病床から医療療養病床に移した高齢患者への転入時ケア実践モデルの開発	単著	千葉看護学会誌、23(2)、21-30	丸山優	2018.3
(3) 学会発表					
1	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造-Delphi法調査時の自由記述の分析から-	共著	プライマリケア学会、高松市	○丸山優、大塚真理子、國澤尚子、辻玲子、畔上光代、須賀夏子他	2017.5
2	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造-Delphi法による適切性の調査から-	共著	プライマリケア学会、高松市	○大塚真理子、丸山優、國澤尚子、辻玲子、畔上光代、須賀夏子他	2017.5
3	開放型病床における認知所高齢者のより良い退院を実現させるケア環境-看護師へのグループインタビュー調査から-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.5
4	開放型病床における認知所高齢者の退院支援の構造-グループインタビューによる質的分析-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○田中敦子、丸山優、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.5
5	急性期医療を担う地域中核病院における認知症高齢者の長期支援を支援する多職種連携-地域連携部門スタッフのインタビュー調査からの考察-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○菊地悦子、辻玲子、大塚真理子、田中敦子、丸山優、須賀夏子、國澤尚子他	2017.5
6	一般急性期病院で認知症高齢者を支えるケアの検討-地域での長期療養を見据えた多職種混合演習から-	共著	日本老年看護学会、名古屋	○丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.6
7	一般急性期病院の開放型病床における認知症高齢者の退院支援-質的研究による看護師の思考と行動の探索-	共著	日本老年看護学会、名古屋	○田中敦子、丸山優、須賀夏子、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.6
8	一般急性期病院における認知所高齢者を支えるケア-多職種混合演習での記述内容の分析から-	共著	日本看護科学学会、仙台市	○丸山優、田中敦子、大塚真理子、畔上光代、菊地悦子他	2017.12
9	病院に勤務する中堅者のIPWコンピテンシー自己評価尺度の検証-認定看護師の特徴-	共著	日本看護科学学会、仙台市	○國澤尚子、大塚真理子、丸山優、畔上光代	2017.12
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	急性期治療後の高齢者が転入する後方支援施設での多職種情報共有包括ケアモデルの開発(研究代表者)			2015.4~2019.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	認知症高齢者の長期療養を専門職連携実践で支える研修プログラムの開発(研究分担者)			2014.4~2018.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造化(研究分担者)			2014.4~2018.3
4	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト研究C-1	在宅医療・介護における多職種連携研修プログラムの開発(研究メンバー)			2016.4~2018.3

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	IPW論	2017.4～2017.7	2年次生を対象に、IPWの考え方、実践に関する講義、演習を実施した。各回の振り返りを基に、円滑に学習が進むように導入を工夫した。
2	老年看護学Ⅲ	2018.1	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。
(2) 演習			
1	老年看護学Ⅱ	2017.4～2017.7	3年次生を対象に、老年看護の対象者理解と援助方法の学習を目的として、講義、事例演習、実技演習を行った。科目責任者として、学生の間際評価を基にグループワークが円滑に進むよう、主体的に進行する方法を工夫した。
(3) 実習			
1	老年看護学実習Ⅰ	2017.4～2017.6	2年次生を対象に、老人福祉センターにおける実習を担当した。元気な高齢者との関わりを通して、高齢者の特徴と多様性を学べるように関わった。
2	老年看護学実習Ⅱ	2017.10～2017.12	3年次生を対象に、神経内科病棟および内科病棟における実習を担当した。脆弱な高齢者の生活をとらえた看護実践を指導した。
3	総合実習(老年看護学領域)	2017.7	4年次生を対象に、医療療養病床における実習を担当した。個々の課題に合わせて学習が進められるように関わった。
4	IPW実習	2017.1	在宅診療を行う診療所で、対象者の望む生活を支援するための多職種で協働した活動について学生が主体的に学べるように支援した。
(4) 論文指導			
1	学部生卒業論文指導	2017.4～2018.1	4名
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	看護研究研修会講師	越谷誠和病院	看護研究について
2	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導
3	看護研究指導講師	獨協医科大学埼玉医療センター	看護研究指導
4	介護支援専門員研修講師	埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教務運営部会補助		
2	看護学科カリキュラム運営検討委員会		
3	看護学科保健師助産師関連科目履修者選考委員		
4	看護学科4年生担任		
5	看護学科国家試験対策プロジェクトメンバー		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	認知症ケア学会石崎賞	認知所ケア学会	2017.6
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		